

目的別チュートリアル

目次

注意事項	2
マイコンピュータやエクスプローラ上で、ファイルのコピーを行う	3
DVカメラのダビング	4
ノンリアルタイムキャプチャによる、DVカメラからの録画	10
シーン検出機能を使つての編集	13
1枚のDVDディスクにピッタリ収める (Smart Fit 機能).....	18
TV番組をDVDに録画する	20
必要のないCMをカットしましょう	24
DVDビデオの作成方法	28
スライドショーを作る	32
DVDレコーダで録画した映像をDVDビデオに変換	37
Power2Go Express を使って簡単に音楽CDやデータDVD/CDを作る ..	40
Windows システム終了時に、自動的にディスクを排出する	42
使用可能なメディアとサポート形式	44
各ソフトウェアのオンラインマニュアルの参照方法	45

注意事項

DVD+R、DVD-R メディアについて

DVD+R、DVD-R メディアには 1 層 (4.7GB) タイプのもの、2 層 (8.5GB) タイプのものがあります。本チュートリアルで、「DVD+R メディア」、「DVD-R メディア」とだけ表記した場合は、1 層メディア / 2 層メディアの両方が使用可能となります。

InstantBurn について

「InstantBurn」は、DVD+RW/DVD-RW、DVD-RAM、CD-RW で使用することができます。各種 R メディア (1 回だけ書き込みを行うメディア) には対応していません。

「InstantBurn」は、他社製のパケットライティングソフトと同時に使用できません。他社製のパケットライティングソフトがインストールされている場合は、そのソフトをアンインストール (削除) する必要があります。

また、Windows XP で、エクスプローラ上の書き込み機能を使用する場合は「InstantBurn」をインストールしないでください。この 2 つの機能も重複して使用することはできません。

PowerBackup について

「PowerBackup」は、Windows 98 Second Edition ではご使用になれません。

PowerDirector について

「PowerDirector」は、Windows Me、Windows 98 Second Edition ではご使用になれません。

4GB を超えるファイルの保存について

Power2Go は DVD メディアへの記録に OS での読みとり互換の高い「UDF/ISO9660 ブリッジ」を採用しています。この「UDF/ISO9660 ブリッジ」というフォーマット形式は、1 ファイル 4GB を超えるファイルを書き込むことができません。4GB を超えるファイルの保存には、「UDF 1.5」を採用している InstantBurn をご使用ください。

コピープロテクトされたディスクについて

付属ソフトウェアは、CSS などのコピープロテクトがかけられたディスクには対応していません。一般にコピープロテクトを解除することは法律で禁じられています。

マイコンピュータやエクスプローラ上で、ファイルのコピーを行う

概要

未フォーマットのDVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM、CD-RWメディアをフォーマットして、マイコンピュータやエクスプローラ上で、データをドラッグ&ドロップするだけでコピーできるようにします。

使用するソフトウェア : InstantBurn

使用するメディア

- ・DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM、CD-RW

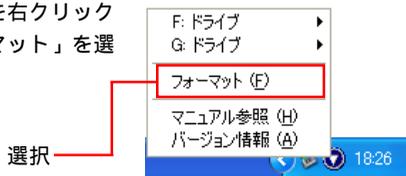
手順

1

対象となるメディアをドライブにセットします。

2

ウィンドウ右下のInstantBurnアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「フォーマット」を選択します。



3

表示されるウィンドウの指示に従って、メディアのフォーマットを行ってください。

フォーマット後は、マイコンピュータやエクスプローラ上で、ドラッグ&ドロップだけでファイルのコピーを行うことができます。

DV カメラのダビング

概要

DV カメラの映像を、DVD ビデオとして DVD-R、DVD+R メディアへそのまま記録（保存）します。

本章では、DV カメラをパソコンの IEEE1394（iLINK）ポートに接続した場合の説明を行います。

DV カメラは、多くの場合、IEEE 1394（iLINK）ポートを使用します。詳しくは、ご使用の DV カメラの取扱説明書をご参照ください。

使用するソフトウェア : PowerProducer

本製品の他に必要なもの

- ・ IEEE 1394 ポートが搭載されているパソコン
- ・ DV カメラと、映像が記録済みの DV テープ
- ・ IEEE 1394 ケーブル
- ・ DVD-R または、DVD+R メディア

手順

1

パソコンおよび DV カメラの電源を入れ、DV カメラに DVD ビデオとして録画するテープをセットし、パソコンに接続します。（DV カメラの電源は「ビデオ（既に録画済の映像を再生する）」モードに設定する必要があります。）

2

インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、PowerStarter を起動してください。

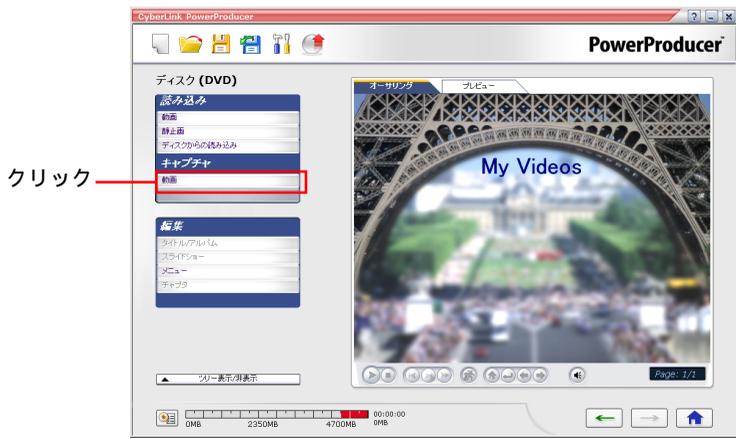


3

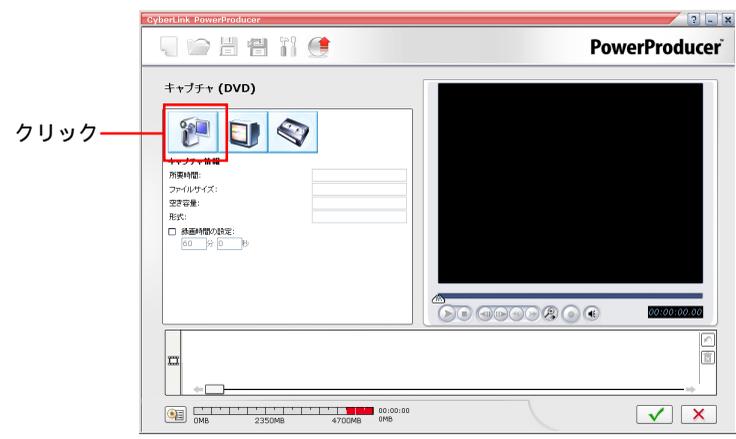
起動画面で「ムービーディスクの作成と編集」を選択して、「DVD の作成」をクリックします。

The screenshot shows the CyberLink DVD Solution PowerStarter application window. The title bar reads 'CyberLink PowerStarter'. The main window title is 'CyberLink DVD Solution' and 'PowerStarter'. The interface features a top navigation bar with several icons: a heart, a play button, a document, a music note, a film strip (highlighted with a red box), a DVD disc, and another DVD disc. Below this bar, the text 'ムービーディスクの作成と編集' is displayed. A list of options is shown below, including 'DVDの作成' (highlighted with a red box), 'VCDの作成', and 'SVCDの作成'. To the right, there is an option for 'DVDフォルダの書き込み'. Two red callout boxes with white text provide instructions: '1. 「ムービーディスクの作成と編集」を選択' and '2. 「DVD の作成」をクリック'.

4 「ディスク (DVD)」ウィンドウが表示されますので、「キャプチャ：動画」をクリックしてください。



5 「キャプチャ (DVD)」ウィンドウが表示されます。DVカメラのアイコンをクリックしてください。



! **ご注意**

ここでキャプチャデバイスの欄に「DVカメラ」が表示されていない場合は、パソコンに接続しているDVカメラが正常に認識されていないことが考えられます。PowerProducerを終了し、DVカメラとパソコンの接続を確認後、再度はじめて作業を行ってください。

6

DV コントロールが使用可能になり、DV カメラをパソコンから制御できるようになりますので、ダビングを行なうシーンの先頭を選択し、「録画」ボタンをクリックしてください。自動的にDV カメラの再生が始まり、録画を行ないます。

ここでの録画は、テープの映像をハードディスク上に動画ファイルとして保存します。



7

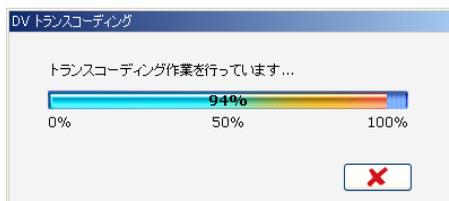
録画を終了する場面になったら、「停止」ボタンをクリックして、録画を終了します。



8

「トランスコーディング作業を行なっています...」というメッセージが表示され、自動的にトランスコーディングを行ないます。

この間、ユーザーは特に作業をする必要はありません。

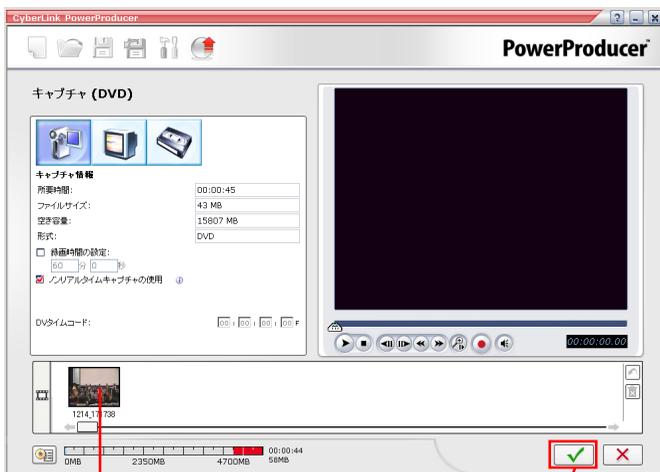


9 トランスコーディングが終了すると、「タイトル」エリア内に録画した映像のアイコンが表示されます。

 **参考**

ここで、DVカメラのテープを入れ替え、手順 からの作業を繰り返すことで、複数本のテープから映像を取り込むことができます。

「」ボタンをクリックしてください。



ここに録画した映像のアイコンが表示されます。

「」ボタンをクリック

10 「ディスク (DVD)」ウィンドウに戻ります。

「」ボタンをクリックしてください。



「」ボタンをクリック

11 「書き込みの設定」ウィンドウが表示されます。ドライブにメディアをセットして、以下の設定を行ない、「」ボタンをクリックしてください。

- ・「現在のドライブ」に本製品のドライブ名（ ）が表示されている事を確認
- ・「ボリュームラベル：」にディスクのボリューム名を入力（デフォルトでよければ無視）
- ・「ディスクの書き込み」チェックボックスにチェックが入っていることを確認

ドライブ名については、「ハードウェアマニュアル」をご参照ください。



1. 確認

2. 入力

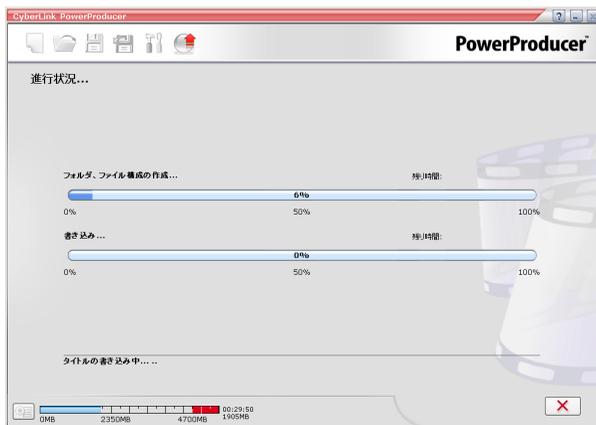
3. チェック

4. 「」をクリック

Point ポイント

ドライブ名が異なる場合はドライブ名横の「」ボタンをクリックして、本製品のドライブ名を選択してください。

12 「進行状況...」ウィンドウに変わり、書き込み作業が始まります。



Point ポイント

書き込み作業は、ご使用のパソコンのCPU、メモリのスペック、書き込みファイルの容量により、異なりますが、最低でも数十分ほどかかります。

13 書き込みが終了すると以下の画面が表示され、トレイが自動的に排出されます。以上で作業は終了です。



ノンリアルタイムキャプチャによる、DVカメラからの録画

概要

DVカメラの映像をMPEGファイルで保存しながらキャプチャした場合、多くのCPUパワーを必要とします。あまりCPUパワーの高くないPCの場合は、下記の設定を行うことで画質を損ねることなくMPEGファイルとして保存しながら、キャプチャすることが可能です。

AVIファイルとして保存する場合には、本機能は設定できません。

注意点

- 録画処理を確実に行うことができますが、多くの作業時間を必要とします

使用するソフトウェア : PowerDirector

本製品の他に必要なもの

- DVカメラ

手順

1

パソコンおよびDVカメラの電源を入れ、DVカメラにキャプチャを行う映像の入ったテープをセットし、パソコンに接続します。DVカメラの電源は、「ビデオ（既に録画済みの映像を再生）」モードに設定する必要があります。

2

インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、PowerStarterを起動してください。



3

起動画面で「ムービーディスクの作成と編集」を選択して、「動画の編集」をクリックします。

1. 「ムービーディスクの作成と編集」を選択

2. 「動画の編集」をクリック



4 起動画面から「キャプチャ」ボタンをクリックしてください。



5 キャプチャウィンドウが表示されますので、

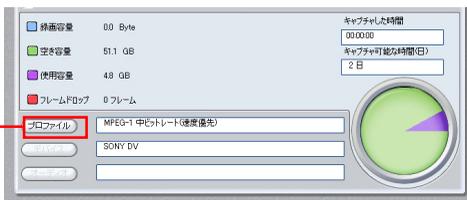
- 画面左下側で、DVカメラがキャプチャデバイスとして選択されていることを確認し、

DVカメラが選択されていることを確認



- 画面右下側で、プロファイルボタンをクリックし保存するファイル形式を選択します。

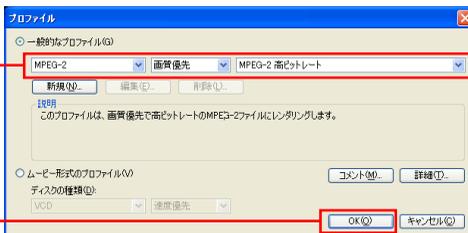
「プロファイル」ボタンをクリック



6 「プロファイル」ウィンドウが表示されるので、必要な設定を行い、「OK」ボタンをクリックしてください。

下のウィンドウは推奨設定です。これ以外の設定を行ってもキャプチャの実行は可能です。

1. 必要な設定を行います



2. 「OK」をクリック

7

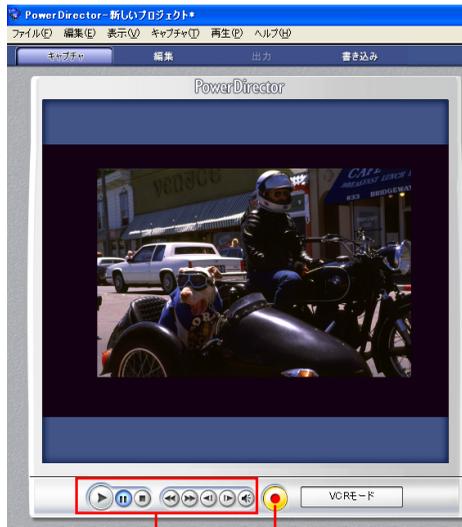
元のウィンドウに戻るので、画面右下で「ノンリアルタイム」チェックボックスがチェックされていることを確認してください。

確認



9

操作ボタンを使用して、録画を行うシーンにテープを移動し、録画ボタン  をクリックします。



操作ボタン

録画ボタン

9

停止ボタン  をクリックして、ファイルを保存します。

シーン検出機能を使っての編集

概要

既に用意された動画ファイルに対してシーン検出を行うと、シーン毎に擬似的に分割されて表示されます。シーンによる映像の並べ替え、必要のないシーンの削除などの編集作業を簡単に行うことができます。

使用するソフトウェア : PowerDirector

本製品の他に必要なもの

- ・動画ファイル

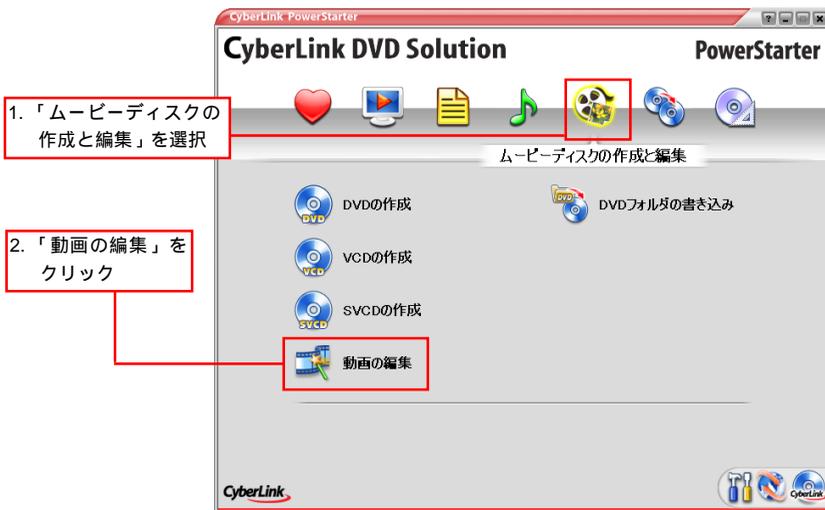
1

インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、PowerStarterを起動してください。

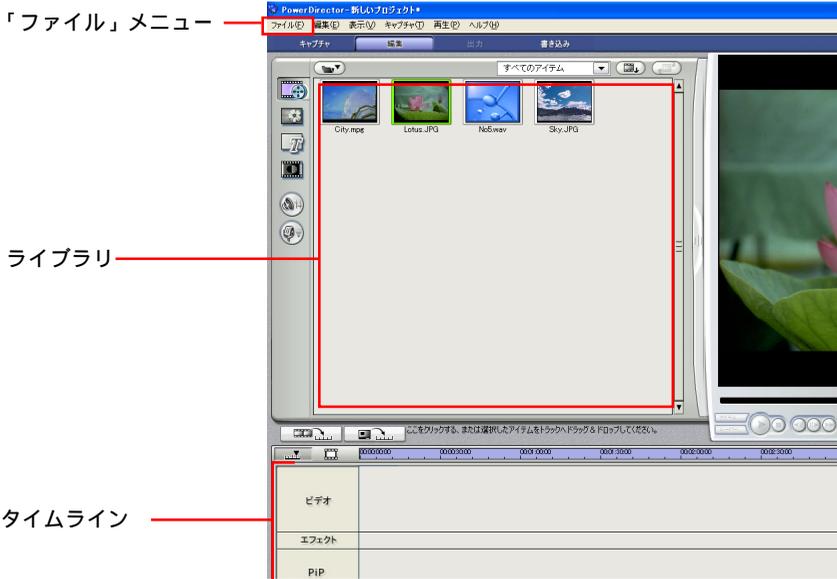


2

起動画面で「ムービーディスクの作成と編集」を選択して、「動画の編集」をクリックします。



3 起動画面（メインウィンドウ）で、「ファイル」メニューから「インポート」 - 「ファイル」を選択し、編集を行う動画ファイルをライブラリに登録します。

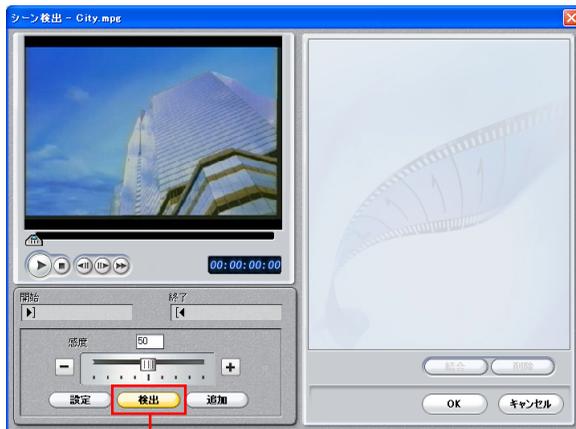


4 ライブラリ内で、シーン検出を行う動画を選択し、「編集」メニュー - 「ツール」 - 「シーンの検出」を選択します。



5

シーン検出ウィンドウが表示されますので、「検出」ボタンをクリックします。



クリック

6

シーン検出が終了すると、右側のウィンドウに検出されたシーンが表示されますので、必要のないシーンは削除してください。作業が終わったら「OK」ボタンをクリックします。



7

メインウィンドウに戻ります。元のファイルの右下にフォルダ表示が追加されており、これがシーン検出が行われている表示です。このフォルダ部分をダブルクリックすると、シーン毎の表示に切り替わりますので、必要なシーンをタイムラインに移動し、動画の編集を行います。



8

編集が終了したら、出力ボタンをクリックします。



9

「ムービーの出力」ウィザードが起動するので、以下のような設定（推奨）をし、「開始」ボタンをクリックしてファイルの保存を実行します。

1. 「ディスク形式出力」を選択

2. 「次へ」をクリック

3. 「DVD形式」を選択

4. 「次へ」をクリック

5. 「開始」をクリック



1 枚の DVD ディスクにピッタリ収める (Smart Fit機能)

概要

一枚の DVD ディスクに、ビデオの画質等を調整しながらピッタリと納めることができます。

例えば「できるだけ高画質な DVD ビデオにしたいのだけど、高画質設定のままでは容量が足りない」といった状況の時に便利です。

使用するソフトウェア : PowerProducer

手順

1

インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、PowerStarterを起動してください。

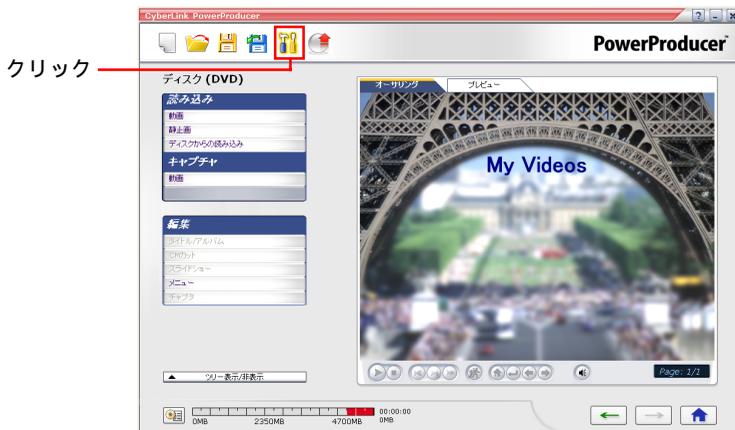


2

起動画面で「ムービーディスクの作成と編集」を選択して、「DVDの作成」をクリックします。



3 「ディスク (DVD)」 ウィンドウが表示されます。ここで「環境設定」ボタン  をクリックします。



4 環境設定ウィンドウが表示されますので「プロファイル」タブをクリックし、画質で「Smart Fit」を選択し、「」ボタンをクリックします。

1. 「プロファイル」
タブを選択

2. 「Smart Fit」を選択

3. 「」をクリック



これで、通常のDVDビデオ作成を行うと、ソフトウェア側でディスク一枚に収まるよう映像の画質を調整します。

TV 番組を DVD に録画する

概要

本製品とパソコンを使って TV 番組を DVD に録画します。

使用するソフトウェア : PowerProducer

本製品の他に必要なもの

- ・WDM 準拠の TV チューナーボードを搭載したパソコン
- ・TV チューナーボードに接続するアンテナ
- ・DVD-RW、DVD+RW メディア

手順

1

「スタート」 - 「(すべての) プログラム」 - 「CyberLink PowerProducer」 - 「PowerProducer」と選択して、PowerProducer を起動します。

2

起動画面で「Right-to-Disc」を選択してください。

「Right-to-Disc」を選択



3 「ドライブ/ディスクを確認」ウィンドウが表示されますので、「使用するドライブ：」で本製品のドライブ名()を選択し、書き込みを行うメディアをドライブにセットします。「ディスクメディアの種類」にメディアの名称が表示されることを確認し「」をクリックしてください。

ドライブ名については、「ハードウェアマニュアル」をご参照ください。

1. 本製品のドライブ名
を選択

2. メディアの種類が表示
されていることを確認



3. 「」をクリック

Point ポイント

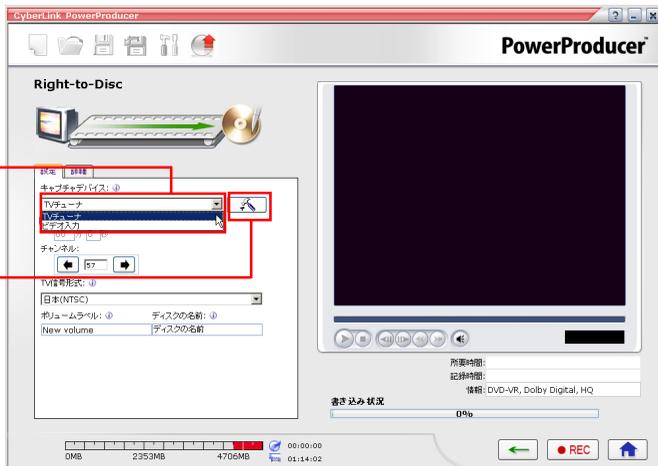
新規(ブランク含む)のDVD-RWメディアでは「録画するためにディスクを準備しています。」というメッセージが表示されます。数分でメッセージが消え「Right-to-Disc」ウィンドウが表示されます。

4

「Right-to-Disc」ウィンドウが表示されます。
 「キャプチャデバイス：」に録画を行うデバイス（TVチューナやビデオ入力）を選択し、「」ボタンをクリックしてください。

1. デバイスを選択

2. 「」ボタンをクリック

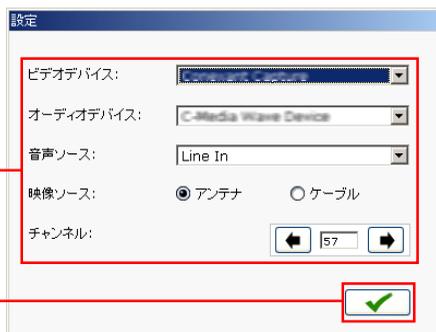


5

入力元やチャンネルの設定など、TVの設定を行い、「」ボタンをクリックしてください。

1. 必要な設定を行い、

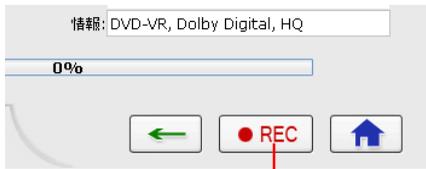
2. 「」ボタンをクリック



6

「Right-to-Disc」ウィンドウに戻るので、「」ボタンをクリックしてください。録画が始まります。

「」ボタンをクリック



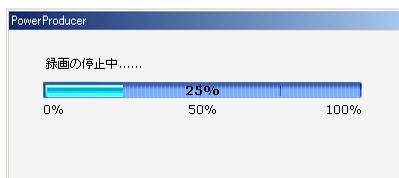
7

「■STOP」ボタンをクリックすると、録画が終了します。



「■STOP」ボタンをクリック

停止中は右のメッセージが表示されます。



DVD-RWメディアの場合は、この後、「ファイナライズ処理」が自動的に行われます。

終了すれば、書き込みが完了です。



ご注意

民生レコーダーで、映像の追記を行う場合には「ファイナライズ解除」作業を行う必要があります。手順については、レコーダーのマニュアルを参照願います。

必要のないCMをカットしましょう

概要

TV番組を録画した動画ファイルから、CMを簡単に抜き出すことが可能です。必要のないCMならば、削除して本編のみの、オリジナル保存版を簡単に作れます。

使用するソフトウェア : PowerProducer

本製品の他に必要なもの

- ・TV番組を録画した動画ファイル

手順

1

インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、PowerStarterを起動してください。

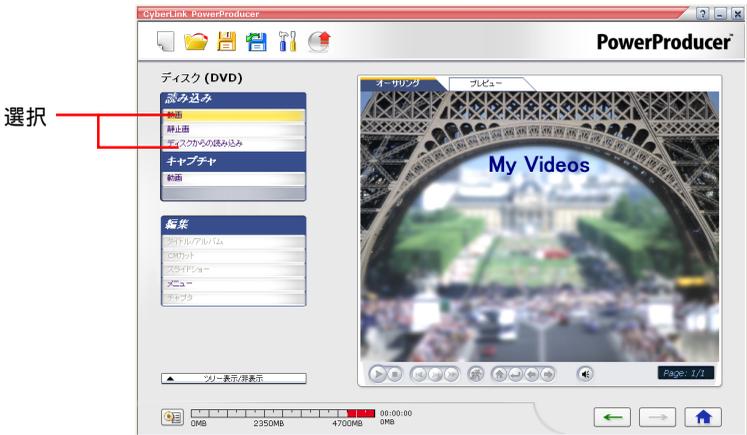


2

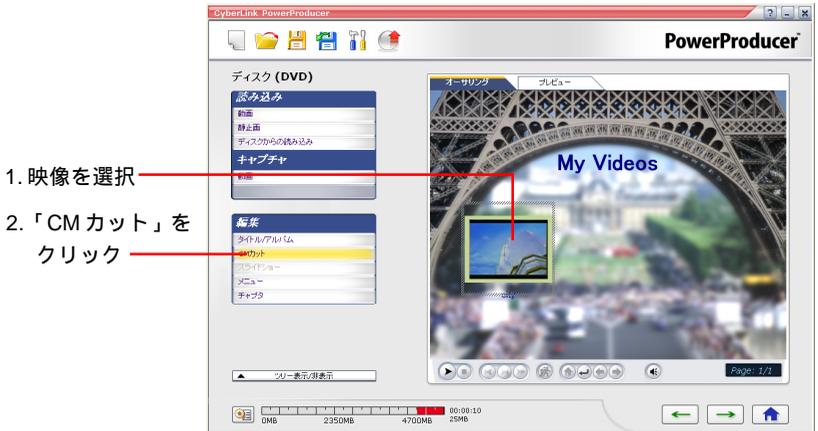
起動画面で「ムービーディスクの作成と編集」を選択して、「DVDの作成」をクリックします。



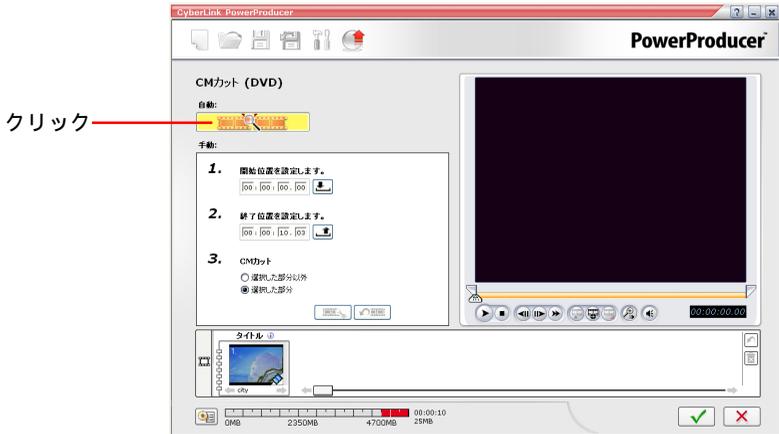
3 TV 番組の録画された映像を選択します。「読み込み：動画」で既存の映像を選択するか、「読み込み：ディスクからの読み込み」で DVD レコーダで録画したディスクを選択します。



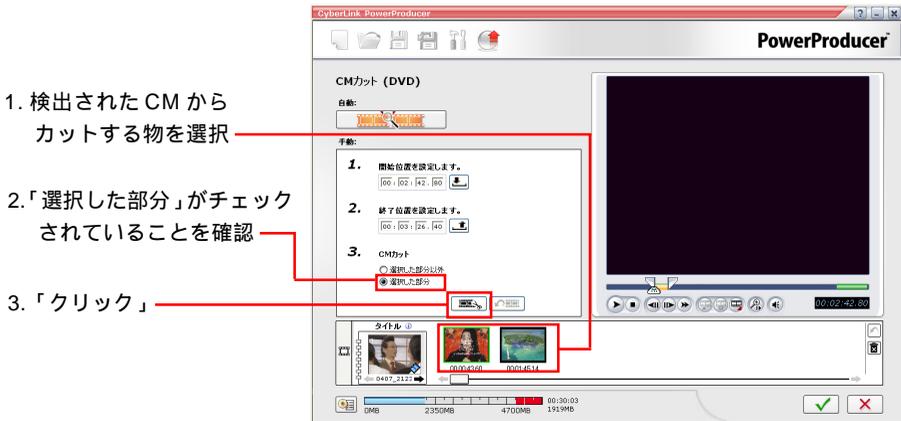
4 ウィンドウに表示される映像を選択し「編集」で「CMカット」ボタンをクリックします。



5 「自動」ボタンをクリックし、CMを抜き出します。



6 ソフトが判別したCMが、プレビュー画面下に色が変わって表示されます。CMの内容を確認し、必要のないCMがあれば、「3.CMカット」の部分で「選択した部分」がチェックされていることを確認して、「」ボタンで削除します。

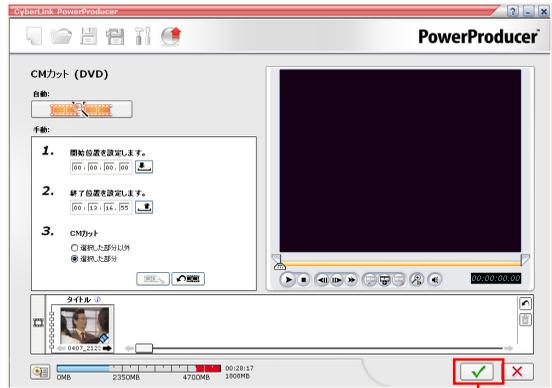


CMカット機能による、CMの判別は万能ではありません。削除する前にCMであるかを確認することをお奨めします。

カットボタンをクリックした場合、タイトルエリアに表示されるシーンが、全て削除対象となります。削除したくないシーンは、タイトルエリア右のゴミ箱ボタン () で、削除対象から除いた後に、カットボタン () をクリックしてください。

7

「」ボタンをクリックしてメインウィンドウに戻ります。



クリック

DVD ビデオの作成方法

概要

PowerDirector 等で作成した動画ファイルを元に、DVD ビデオを作ります。
PowerDirector を使うと、高度な動画編集を行うことができます。

使用するソフトウェア : PowerProducer

本製品の他に必要なもの

- ・パソコン
- ・DVD -R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW メディア
- ・映像ファイル (MPEG2、DV AVI ファイルなど)

手順

1

インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、PowerStarter を起動してください。



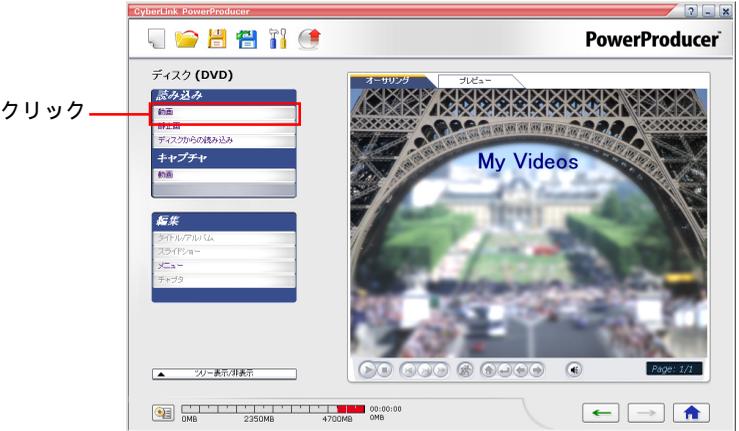
2

起動画面で「ムービーディスクの作成と編集」を選択して、「DVDの作成」をクリックします。



3

「ディスク (DVD)」ウィンドウが表示されますので、「読み込み：動画」をクリックしてください。

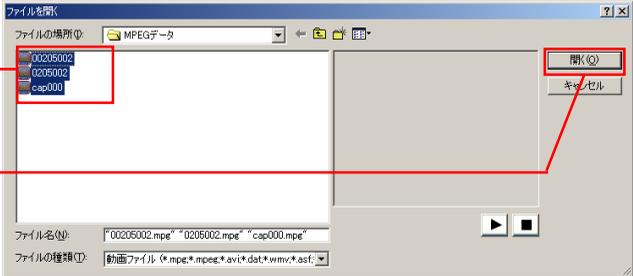


4

「ファイルを開く」ウィンドウで、DVDに保存したい動画ファイル (MPEG2, AVI など) を選択し、「開く」をクリックしてください。

1. ファイルを選択

2. 「開く」をクリック



同じフォルダ内に保存されているファイルなら、同時に選択可能です。

5

「ディスク (DVD)」ウィンドウに戻りますので、「→」をクリックしてください。

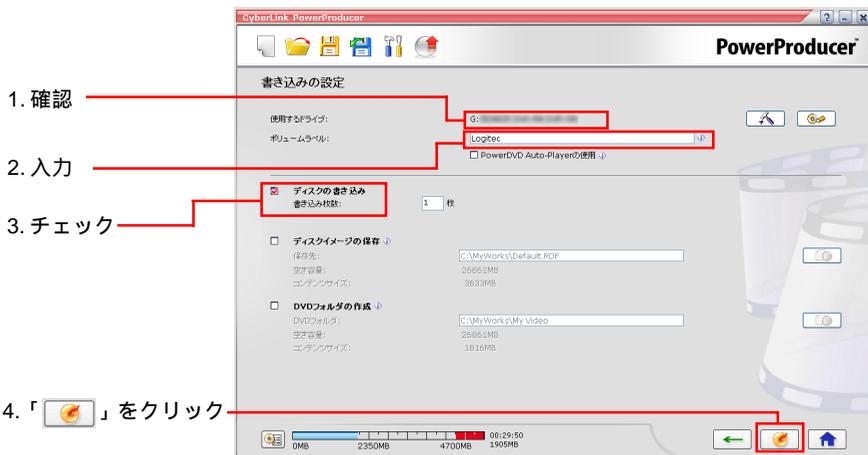


「→」をクリック

6 「書き込みの設定」ウィンドウが表示されます。ドライブにメディアをセットして、以下の設定を行ない、「」ボタンをクリックしてください。

- ・「使用するドライブ」に本製品のドライブ名()が表示されている事を確認
- ・「ボリュームラベル：」にディスクのボリューム名を入力(デフォルトでなければ無視)
- ・「ディスクの書き込み」チェックボックスにチェックが入っていることを確認

ドライブ名については、「ハードウェアマニュアル」をご参照ください。

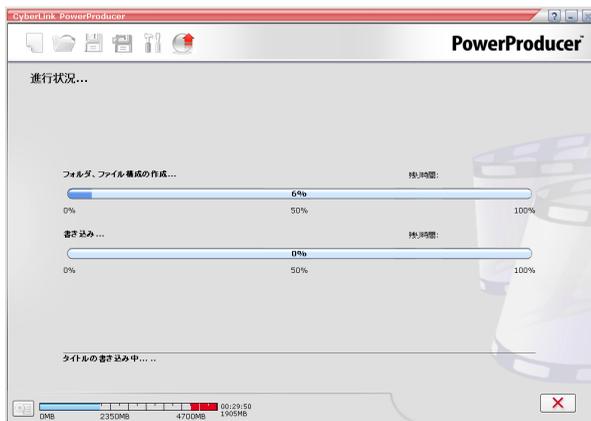


Point ポイント

ドライブ名が異なる場合はドライブ名横の「」ボタンをクリックして、本製品のドライブ名を選択してください。

7

「進行状況...」ウィンドウに変わり、書き込み作業が始まります。



Point

ポイント

書き込み作業は、ご使用のパソコンのCPU、メモリのスペック、書き込みファイルの容量により、異なりますが、最低でも数十分ほどかかります。

8

書き込みが終了すると以下の画面が表示され、トレイが自動的に排出されます。以上で作業は終了です。



スライドショーを作る

概要

デジカメで撮影した画像ファイルで、DVDプレーヤーを使ってTVで再生することができるスライドショーが保存されたDVDを作成します。

使用するソフトウェア : PowerProducer

本製品の他に必要なもの

- ・パソコン
- ・DVD -R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW メディア
- ・画像ファイル (jpeg、gif ファイルなど)

手順

1

デジカメで撮影した画像ファイルを、パソコンに取り込みます。

- ・パソコンに直接接続できるタイプのデジカメは、パソコンにつないで画像ファイルを取り込んでください。
- ・メモリーカードを使用する場合は、メモリーカードリーダー等を使用して画像ファイルをパソコンに取り込んでください。

2

インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、PowerStarterを起動してください。

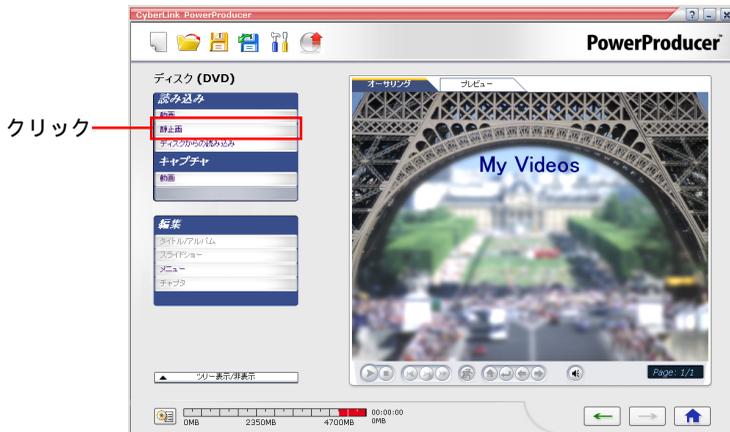


3

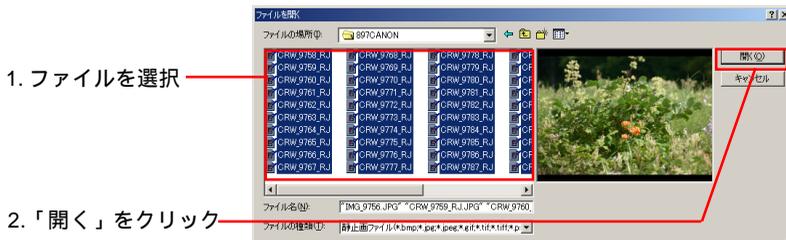
起動画面で「ムービーディスクの作成と編集」を選択して、「DVDの作成」をクリックします。



4 「ディスク (DVD)」ウィンドウが表示されますので、「読み込み：静止画」をクリックしてください。



5 「ファイルを開く」ウィンドウで、スライドショーに保存したい画像ファイル (JPEG, BMP, TIFF など) を選択し、「開く」をクリックしてください。



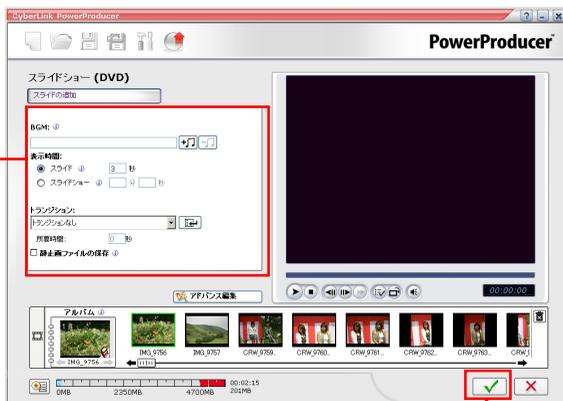
同じフォルダ内に保存されているファイルなら、同時に選択可能です。

6 「スライドショー (DVD)」 ウィンドウが表示されます。必要に応じて、下記の設定を行ってください。

- ・スライドショー再生中のBGMを追加する場合は「」ボタンをクリックし、音楽ファイルを指定してください。(必要ない場合は、設定を行う必要はありません。)
- ・画像の表示時間を設定してください。
- ・画像の切り替わる際の表示効果 (トランジション) を設定してください。

設定が終わったら、「」ボタンをクリックしてください。

1. 必要な設定を行ないます



2. 「」ボタンをクリック



参考

ハードディスクに保存した画像ファイルを、画像ファイルとしてDVDに保存しておくことができます。その場合は「静止画ファイルの保存」チェックボックスをONにしてください。

7 「ディスク (DVD)」 ウィンドウに戻ります。
「」ボタンをクリックしてください。



「」ボタンをクリック

8

「書き込みの設定」ウィンドウが表示されます。ドライブにメディアをセットして、以下の設定を行ない、「」ボタンをクリックしてください。

- ・「現在のドライブ」に本製品のドライブ名（ ）が表示されている事を確認
- ・「ボリュームラベル：」にディスクのボリューム名を入力（デフォルトでよければ無視）
- ・「ディスクの書き込み」チェックボックスにチェックが入っていることを確認

ドライブ名については、「ハードウェアマニュアル」をご参照ください。

1. 確認

2. 入力

3. チェック

4. 「」をクリック

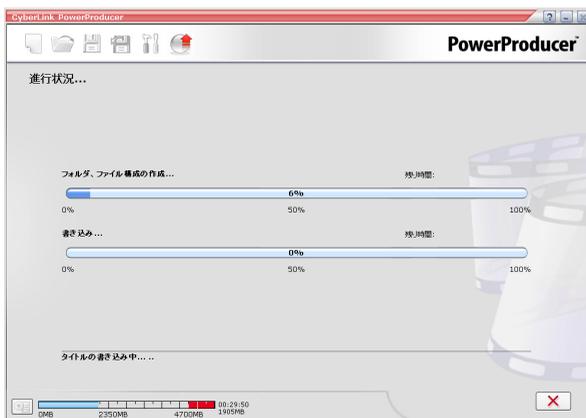
Point

ポイント

ドライブ名が異なる場合はドライブ名横の「」ボタンをクリックして、本製品のドライブ名を選択してください。

9

「進行状況...」ウィンドウに変わり、書き込み作業が始まります。



Point ポイント

書き込み作業は、ご使用のパソコンのCPU、メモリのスペック、書き込みファイルの容量により、異なりますが、最低でも数十分ほどかかります。

10

書き込みが終了すると以下の画面が表示され、トレイが自動的に排出されます。以上で作業は終了です。



参考 参考

DVDメディアの中では、映像ファイルとの共存が可能です。

DVD レコーダで録画した映像を DVD ビデオに変換

概要

DVDレコーダを使いDVD-RAM, DVD-RWメディアにVRモードで録画した映像を、安価なDVD+R, DVD-Rメディアへ互換性の高いDVD-Video形式へ変換します。

DVD+RWメディアへDVD+VRフォーマットで書き込んだ場合は、DVDビデオ形式と互換性を持つので、この作業は必要ありません。

使用するソフトウェア : PowerProducer

本製品の他に必要なもの

- ・ DVDレコーダを使いVR形式で録画したDVD-RAMまたはDVD-RWメディア
- ・ 10GB以上の空き容量があるパソコン
- ・ DVD-RまたはDVD+Rメディア

Point ポイント

書き込み作業は、ご使用のパソコンのCPU、メモリのスペック、書き込みファイルの容量により、異なりますが、最低でも数十分ほどかかります。

手順

1

「スタート」 - 「(すべての)プログラム」 - 「CyberLink PowerProducer」 - 「PowerProducer」と選択して、PowerProducerを起動します。

2

PowerProducerが起動したら、目的のウィンドウから「ディスクユーティリティ」を選択します。

「ディスクユーティリティ」
を選択



3 「ディスクユーティリティ」が表示されますので、「DVD-VR から DVD-Video に変換」を選択します。



「DVD-VR から DVD-Video に変換」を選択

4 「DVD-VR から DVD-Video に変換」ウィンドウが表示されます。以下の設定を行ってください。「読み込みドライブ」「書き込みドライブ」で本製品のドライブ名を選択し、「バッファアンダーランエラー防止の使用」にチェックが入っていることを確認してください。

DVDレコーダで録画したメディアを本製品にセットして、メディアのアイコンが表示されたことを確認し、「」ボタンをクリックしてください。メディアから映像の読み込みが始まります。

ドライブ名については、「ハードウェアマニュアル」をご参照ください。



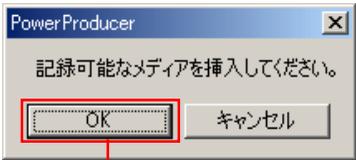
1. 本製品を選択

3. アイコンが表示されたことを確認

2. チェックが入っていることを確認

4. 「」ボタンをクリック

5 メディアの読み込みが終了すると、メディアが排出され右のメッセージが表示されます。DVDビデオを書き込むDVD-RまたはDVD+Rメディアをドライブにセットし、「OK」ボタンをクリックしてください。書き込み作業が開始されます。



メディアをセットして「OK」ボタンをクリック

6 書き込みが終了すると、ウィンドウの左下に「作業が終了しました」とメッセージが表示され、メディアが排出されます。これで、DVD-VR形式からDVDビデオ形式への変換が終了しました。



ここにメッセージが表示されます

Power2Go Express を使って簡単に音楽 CD やデータ DVD/CD を作る

Power2Go をインストールすると、ファイルをドラッグ & ドロップするだけで簡単に音楽 CD やデータ DVD/CD を作成できる、「Power2Go Express」がシステムに常駐します。

音楽 CD を作る場合

Power2Go の音符のアイコンに音楽データをドラッグ & ドロップしてください。

音楽 CD をセットした際、マイコンピュータ上で擬似ファイルとして表示される「***.cda」ファイルもドロップ可能です。この場合、音楽 CD からドロップしたトラックの音声を音楽ファイルへ自動的に変換します。

ここにドラッグ & ドロップ



本製品に CD-R メディアをセットしてください。

音符横の「Rec」ボタンをクリックしてください。

クリック



自動的に書き込みがはじまり、終了するとメディアが自動的に排出されます。

データ DVD/CD を作る場合

Power2Goのデータ記号のアイコンに書き込みを行いたいデータファイルをドラッグ&ドロップしてください。

ここにドラッグ&ドロップ



本製品に書き込みを行うメディアをセットしてください。

データ記号横の「 Rec」ボタンをクリックしてください。

クリック

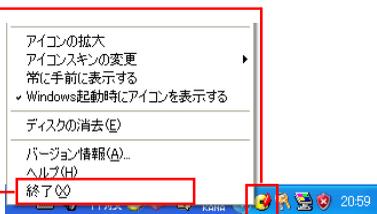


自動的に書き込みがはじまり、終了するとメディアが自動的に排出されます。

終了方法について

Power2Go Express は、Windows 起動時にシステムに常駐します。
終了させたい場合は、タスクトレイ上で Power2Go Express のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「終了」を選択してください。

1. このアイコンを右クリック



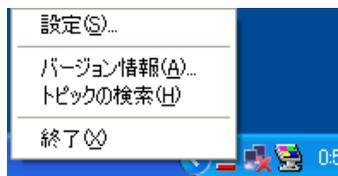
2. 「終了」を選択

上のメニューで、「Windows 起動時にアイコンを表示する」のチェックをOFFにすると、それ以降、システムには常駐なくなります。

Windows システム終了時に、自動的にディスクを排出する

Logitech イジェクトコントローラで設定を行なうと、システム終了時に自動的にディスクの排出を行なうことができます。

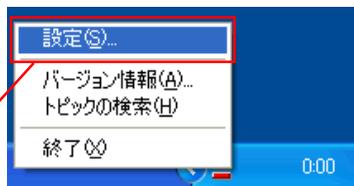
システムトレイに登録されている「Logitech イジェクト コントローラ」のアイコンを右クリックしてメニューを開きます。



アイコンが表示されない場合は、「スタート」-「プログラム」(Windows XPでは「すべてのプログラム」)-「Logitech」-「イジェクトコントローラ」-「Logitech イジェクトコントローラ」と選択すると起動します。

「設定」を選択します。

選択



「Logitech イジェクトコントローラ設定」ダイアログが開きます。一覧リストから目的のDVDユニットを選択して「編集」ボタンをクリックします。

ユニットを選択

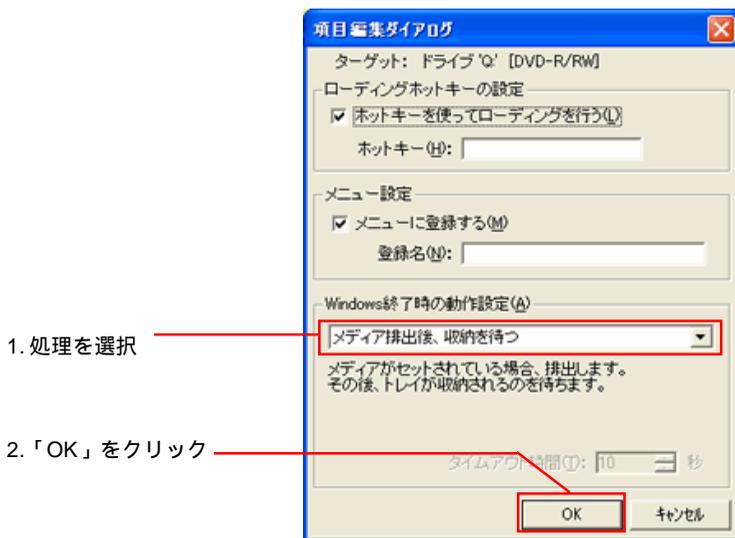
「編集」をクリック



「項目編集ダイアログ」が開きます。ここで、「Windows 終了時の動作設定」を以下の中から設定し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- ・メディア排出
 - トレイを排出します。
 - DVDユニットの電源がOFFになると、トレイを収納できなくなるので注意が必要です。
- ・メディア排出後、収納を待つ
 - トレイ排出後、収納されるまでシステムの終了処理を中断します。
 - トレイが収納されるまでシステムは終了されません。
- ・メディア排出後、収納を待つ（タイムアウトあり）
 - トレイ排出後、収納されるまで待ちますが、「タイムアウト時間」に設定された秒数が経過すると自動的にトレイを収納してシステムの終了処理を継続します。

操作しないを選択すると、Windows終了時にトレイにメディアが残っていても、特に処理を行いません。



以上で、設定が適用されます。

使用可能なメディアとサポート形式

メディア	サポート形式	ソフトウェア名				
		Power2Go	PowerBackup	Instant Burn	PowerProducer	Power DVD
DVD+R	UDF					
	UDF Bridge	ライト	ライト/リード			
	DVD-Video	ライト			作成	再生
DVD+RW	UDF			リード/ライト		
	UDF Bridge	ライト	ライト/リード			
	DVD-Video	ライト			作成	再生
	DVD+VR				作成/編集	再生
DVD-R	UDF					
	UDF Bridge	ライト	ライト/リード			
	DVD-Video				作成	再生
DVD-RW	UDF			リード/ライト		
	UDF Bridge	ライト	ライト/リード			
	DVD-Video				作成	再生
	DVD-VR				作成/編集	再生
DVD-RAM	DVD-VR				読み込み/書き込み	再生
	UDF			リード/ライト		
CD-R	UDF					
	データCD (ISO 9660)	ライト	ライト/リード			
	音楽CD	ライト				再生
	Video CD	ライト			作成	再生
CD-RW	UDF	ライト		リード/ライト		
	データCD (ISO 9660)	ライト	ライト/リード			
	音楽CD	ライト				再生
	Video CD	ライト			作成	再生

- *1 上の表は、ソフトウェア側の対応について記しています。それぞれのメディアに対してドライブ側が対応していなければ、書き込みは行えません。
- *2 本製品とPowerProducerの組み合わせで作成したDVDフォーラム策定のビデオ録画規格準拠 DVD-RAM メディアは DVD-RAM 再生とビデオ録画規格に対応した DVD プレーヤーや DVD ビデオレコーダーで再生できます。また、ビデオ録画再生のアプリケーションソフトを使用すると、DVD-RAM 再生に対応した DVD-ROM ドライブや DVD-RAM ドライブなどでも再生できます。ただし、全ての装置での再生を保証するものではありません。
- *3 本製品と PowerProducer の組み合わせで作成した DVD-R (for General) 、 DVD-RW メディアは、 DVD フォーラム策定のビデオ規格準拠となります。DVD-R、DVD-RW 再生に対応した DVD プレーヤーで再生できます。また、DVD ビデオ再生のアプリケーションソフトを使用すれば、DVD-RAM ドライブや、DVD-ROM ドライブなどでも再生できます。ただし、全ての装置での動作を保証するものではありません。
- *4 本製品とPower2Goとの組み合わせで記録したDVD-RAMメディアは、それ以降読み出し専用のメディアとなり、ファイルやフォルダの追加・削除・移動・ファイル名変更・ボリューム名変更等のディスクへの書き込みを伴う処理が一切できなくなります。再度そのRAMメディアにデータを記録したいときは、物理フォーマットを実行してください。

各ソフトウェアのオンラインマニュアルの参照方法

各ソフトウェアのユーザーズマニュアルやヘルプファイルの参照方法は、以下をご参照ください。

PowerProducer

「スタート」 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)
 「CyberLink PowerProducer」 「PowerProducer User's Guide」

PowerDirector

「スタート」 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)
 「CyberLink PowerDirector」 「PowerDirector User's Guide」

PowerDVD

「スタート」 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)
 「CyberLink PowerDVD」 「PowerDVD User's Guide」

Power2Go

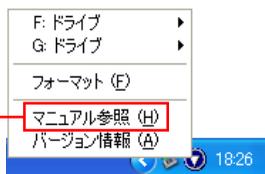
「スタート」 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)
 「CyberLink Power2Go」 「Power2Go ユーザーズガイド」

PowrBackup

「スタート」 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)
 「CyberLink PowerBackup」 「PowerBackupオンラインヘルプ」または「Powerbackup ユーザーズガイド」

InstantBurn

ウィンドウ右下のアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「マニュアル参照」を実行してください。



Logitec イジェクト コントローラ

ウィンドウ右下のアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「トピックの検索」を実行してください。

